

1. 研究課題名：D-1001 野草類の土壤環境に対する生育適性の評価と再生技術の開発

2. 研究代表者氏名及び所属：

平舘 俊太郎（独立行政法人 農業環境技術研究所）



3. 研究実施期間：平成 22～24 年度

4. 研究の趣旨・概要

かつて日本の国土面積の約 20%を占めていた半自然草地（刈り取りなどの人為による関与のもとで維持されてきた草地）は、高度経済成長期以降急速に減少し、現在では国土面積の 2～3%にまで減少している。その結果、多くの草地依存性の生物群が絶滅の危機に瀕しており、レッドリストに記載されている。

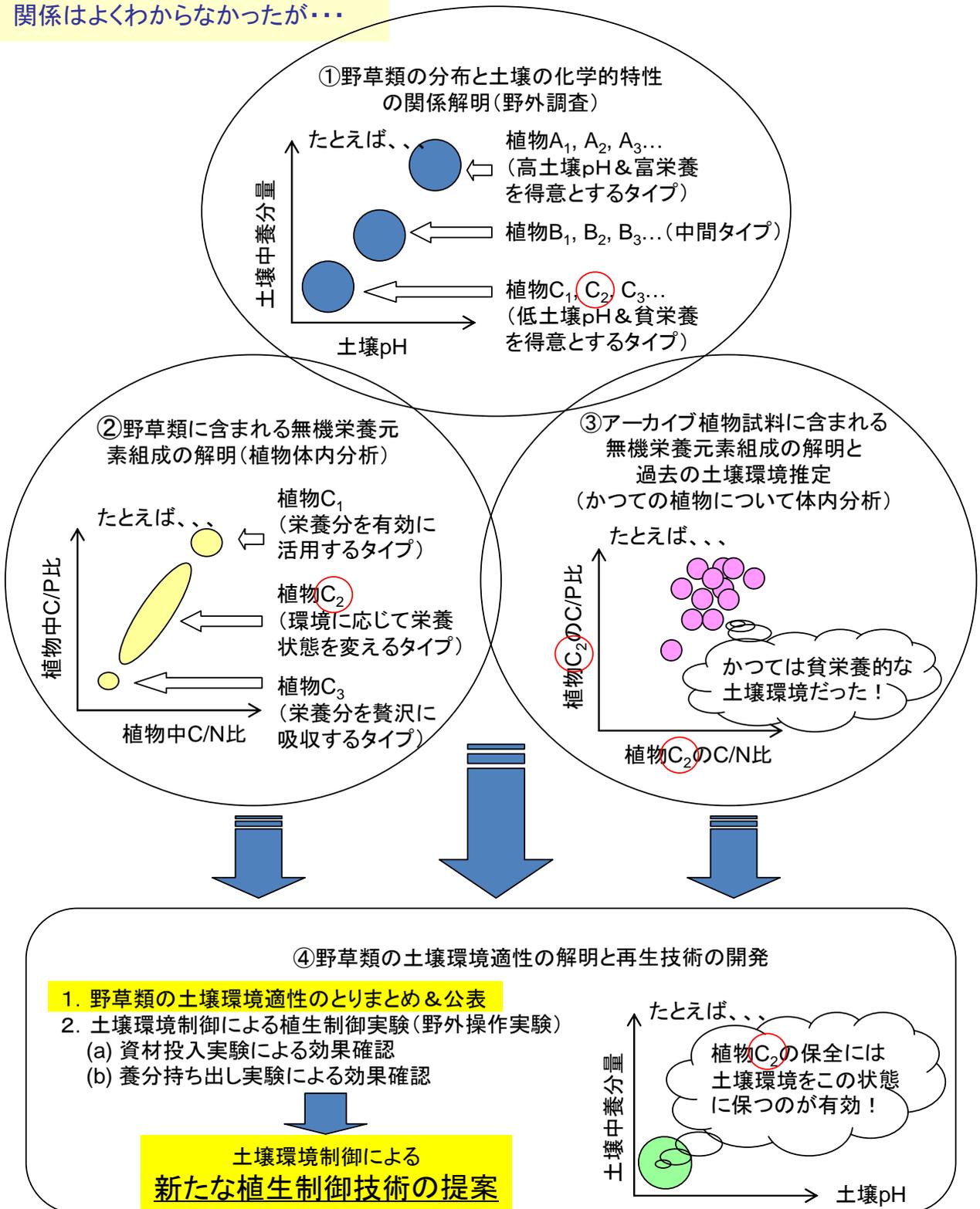
本研究では、野草類の土壤環境適性を明らかにし、かつての土壤環境を復元することによって、あるいは土壤環境を保全・制御することによって、生物多様性の保全上重要な半自然草地を再生する技術の開発を目指している。これらの技術は、わが国のあるべき生物多様性を復元・維持・増進させ、未来の世代へ生物多様性を引き継ぐことにつながるものである。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 野草類の分布と土壤の化学的特性の関係解明  
（独立行政法人農業環境技術研究所）
- ② 野草類に含まれる無機栄養元素組成の解明  
（独立行政法人農業環境技術研究所）
- ③ アーカイブ植物試料に含まれる無機栄養元素組成の解明と過去の土壤環境推定  
（独立行政法人農業環境技術研究所）
- ④ 野草類の土壤環境適性の解明と再生技術の開発  
（独立行政法人農業環境技術研究所）

6. 研究のイメージ

これまでは野草類と土壤環境との関係はよくわからなかったが...



土壤環境を復元することで野草類を保全する技術へ!